**中島 晴美**

1950 岐阜県生まれ

現在 岐阜県恵那市にて制作

**経歴**

1973 大阪芸術大学デザイン科陶芸専攻　卒業

**個展**

1983 ギャラリー陶彩（名古屋・愛知）

1984 ギャラリー岡崎（京都）（以後‘87に開催）

1987 ギャラリーマロニエ（京都）

1990 マスダスタジオ（東京）

1991 市川画廊（東京）

1993 ギャラリー天竺（東京）

1994 青山グリーンギャラリー（東京）

1996 ギャラリーTAO（東京）（以後‘04に開催）

ギャラリー目黒陶芸館（四日市・三重）（以後‘99‘02‘05‘07‘09‘12‘15‘18に開催）

1997 足利乾ギャラリー（足利・栃木）

2000 コンテンポラリーアートNIKI（東京）

2001 ギャラリーセントラム・フッド・ウェルク（ベルギー）

2002 ヨーロピアン・セラミック・ワーク・センター（オーイステルウェイク・オランダ）

2003 世界のタイル博物館（常滑・愛知）

2004 陶彩（東京）（以後‘06に開催）

2008 ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）(以後‘11に開催)

2011 Galerie NeC（パリ・フランス）

2012 Galerie NeC（香港）

2017 日本橋高島屋6階美術画廊X（東京）

2020 「中島晴美：50年の軌跡」現代美術 艸居（京都）

**グループ展**

1973 「陶二人展」今井画廊（大阪）

1975 「信楽陶芸展」信楽町開発センター（甲賀・滋賀）（以後‘76年に開催）

「陶5人展」ギャラリー陶園（甲賀・滋賀）（以後‘76年に開催）

1976 ギャラリーマロニエ（京都）

1978 「第6回中日国際陶芸展」（以後‘79‘80‘82‘83‘85‘86‘87‘89年に開催）

1979 「第5回日本陶芸展　前衛部門」（以後‘89年）

1980 「MINOバトルロワイヤル」（多治見・岐阜）（以後‘81 —‘86年に開催）

「‘80朝日陶芸展」（以後‘82‘83‘85‘86‘87年に開催）

1983 「金沢MINO展」クラフトＶ（金沢・石川）

「‘83日本クラフト展」松屋銀座（東京）

「2人展」ギャラリー岡崎（京都）

1984 「朝日現代クラフト展」（以後‘85‘94招待出品）

1985 「炎団乙乙展」福井県立美術館ギャラリー（福井）

1986 「八木一夫賞現代陶芸展‘86」（以後‘89年に開催）

「京都MINO展」ギャラリーマロニエ（京都）  
「セラミックスアネックス信楽‘86」滋賀県立近代美術館ギャラリー（大津・滋賀）、信楽伝統産業会館（甲賀・滋賀）（以後‘88 —‘91‘94年に開催）

「EMON・美濃・常滑ジョイント展」福岡市美術館（福岡）

「第1回国際陶磁器展美濃‘86」多治見市総合体育館（多治見・岐阜）（以後‘89‘92‘95年に開催）

1987 「国際陶磁器展岐阜選抜展」岐阜県美術館（岐阜）

「シアトルセラミクス展」（シアトル・ワシントン・アメリカ）

「尺の宇宙展」ギャラリー安里（名古屋・愛知）

1988 「‘88カップ展」ギャラリー安里（名古屋・愛知）

「MINOと女性陶芸家交流展」（多治見・岐阜）

「ヨーロピアンカップ展」（ベルギー）

1989 「『土・メッセージ』IN太夫堀」（名古屋・愛知）（以後‘91‘95に開催）

「第1回陶芸ビエンナーレ」

1990 「ZUI展」電気文化会館（名古屋・愛知）

1991 「かたちの『器』展」AZギャラリー（東京）

「スモール・セラミック展」ギャラリーキューブ（滋賀）

「空間をデザインする陶の素材感 セラミック5人展」ギャラリーTAO（東京）

「第4回ミーム・プール展」小原流会館（東京）

1992 「土の表現展」ギャラリー炎舞（名古屋・愛知）

「東海の陶芸新世代展」岐阜高島屋（岐阜）

「中島晴美・板橋廣美2人展」ギャラリーTAO（東京）

「陶芸の現在性展」西武池袋本店（東京、他）

「継続と変形—現代日本の陶芸」エバーソン美術館（シラキュース・ニューヨーク・アメリカ）

「美濃‘92土の音風景展」（多治見・岐阜）

「東海の作家たち」愛知芸術文化センター（名古屋・愛知）

1993 「一枚のプレートから・・・」セラミック・アート・ギャラリー（東京）

「新世代の陶芸展『美濃に拠る』」（多治見・岐阜）

1994 「朝日現代クラフト展」招待出品

「板橋廣美・中島晴美・寄神宗美3人展」マスダスタジオ（東京）

「京都野外陶芸展’94」梅小路公園（京都）

「現代の器展」赤坂乾ギャラリー（東京）

「机上空間の為のアートワークス展Ⅲ・形の現在性」西武池袋本店（東京）

「国際現代陶芸展」国立歴史博物館（台北・台湾）

「I.A.C会員展」プラハ装飾美術館（プラハ・チェコ）

「クレイワーク」国立国際美術館（大阪）

1995 「二つの視点’95—出会いとその後—」阪急うめだ本店（大阪）

「国際画廊展—現代陶芸—」（イタリア）

「机上空間の為のアートワークス展Ⅳ・現在性の閾値」コンテンポラリーアートNIKI(東京）

1996 「現代陶芸の若き旗手たち」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

「東海の現代陶芸」名古屋国際会議場（名古屋・愛知）

「I.A.C会員展」佐賀県立美術館（佐賀）

「美濃陶芸秀作展」岐阜県陶磁資料館（多治見・岐阜）

「現代日本の陶芸展」　海外巡回展、国際交流基金

1997 「第1回恵那展」恵那文化センター（恵那・岐阜）

「The Contemporary Teapot」（デンマーク）

「合理的な迷宮—素材の理路と工芸的造形」マスダスタジオ（東京）

「美濃の現代陶芸：伝統と創造」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

1998 「陶芸の現在的造形」リアス・アーク美術館（気仙沼・宮城）

「I.A.C会員展」ザ・カナディアン・クレイ・アンド・グラス・ギャラリー（ウォータールー・カナダ）

「美濃陶磁の現況展」国際陶磁器展美濃‘98特設会場（多治見・岐阜）

「机上空間の為のアートワークス展Ⅶ」コンテンポラリーアートNIKI（東京）

「近代日本の工芸・常設展示」東京国立近代美術館工芸館（東京）

1999 「東海の陶芸」名古屋国際会議場（名古屋・愛知）

「陶芸の現在—土の形態学」日本橋高島屋（東京）

「世界の現代陶芸・常設展示」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

「FANENZA. AICHI. SEOUL Contemporary Ceramic Arts」Kepco Plaza Gallery（ソウル・韓国）

「I.A.C会員展」利川世界陶磁センター（利川・韓国）

「東海の6人の土の表現」瀬戸市新世紀工芸館（瀬戸・愛知）

「現代造形の構築展」福岡県立美術館（福岡）

2000 「机上空間の為のアートワークス展Ⅷ」コンテンポラリーアートNIKI（東京）

「かたちのちから：所蔵作品による近代日本の美術と工芸」東京国立近代美術館工芸館（東京）

「やきものはっけんでん2」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

2001 「現代陶芸の精鋭—21世紀を開くやきものの手法とかたち」茨城県陶芸美術館（笠間・茨城）

2002 「日本の陶芸」クノック＝ヘイスト・カルチャーセンター、シャープールド・カルチャー・センター（クノック＝ヘイスト・ベルギー）

「現代陶芸の100年展」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「三人展」市之倉さかづき美術館（多治見・岐阜）

「美濃陶磁展」多治見市産業文化センター（多治見・岐阜）

「現代日本工芸展」国際交流基金主催（マレーシア、インドネシア）

「I.A.C会員展」アテネ・スクール・オブ・ファインアーツ（アテネ・ギリシャ）

2003 「柳原睦夫と現代陶芸の尖鋭たち」高知県立美術館（高知）

「JAPAN Contemporary Ceramics and Photography between Tradition and Today」ダイヒトアハーレン（ハンブルク・ドイツ）

「デザインとアートの挑戦—国際陶磁器フェスティバル美濃の歩み—」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

2004 「机上空間のためのオブジェ展Ⅹ‘04」コンテンポラリーアートNIKI（東京）

「現代日本陶彫刻展」Dai Ichi Arts（ニューヨーク・アメリカ）

「カタチが切る—日本の現代陶芸展—」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「I.A.C会員展」利川世界陶磁センター（利川・韓国）

「『土から陶へ』の造形展—PartⅠ：美濃」目黒陶芸館（四日市・三重）京都文化博物館（京都）ギャラリー册（東京）

「MINO CERAMICS NOW 2004」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「第20回愛知教育大学美術教育講座教官展」刈谷市美術館（刈谷・愛知）

2005 「Terra Nova, Sculpture & Vessels in Clay」ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン（ニューヨーク・アメリカ)

「酒器展」陶彩（東京）

「東海の陶芸」電気文化会館5階ギャラリー（名古屋・愛知）

「やきもの新感覚シリーズ・50人展」中部国際空港セントレア（常滑・愛知）

「小さな宇宙展vol.2」市之倉さかづき美術館（多治見・岐阜）

「美濃陶磁展」多治見市産業文化センター（多治見・岐阜）

「日本の現代陶芸・海外の現代陶芸—迫力の時代」滋賀県立陶芸の森（甲賀・滋賀）

「中島晴美　松本ヒデオ展」市之倉さかづき美術館（多治見・岐阜）

「現代の陶芸—サイズと表現—」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

「常設展　近代工芸の百年」東京国立近代美術館工芸館（東京）

2006 「日本陶芸100年の精華」茨城県陶芸美術館（笠間・茨城）

「土から陶への現況展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「現代陶芸その未来展」松坂屋名古屋店（名古屋・愛知）

2007 「《素材×技術》からフォルムへ—陶—」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）「四つの位相—陶」アートコートギャラリー（大阪)

「第19回日本陶芸展」招待出品（東京・大阪・他）

「開館30周年記念展　工芸の力—21世紀の展望」東京国立近代美術館工芸館（東京）

2008 「華やぎのかたち展Ⅱ」日本橋高島屋6階美術画廊 X（東京）

「開館30周年記念企画展 世界の現代陶芸—愛知県陶磁資料館コレクション—」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

「やきもの美術館　うぶすなの家企画展『縄文土器と現代陶を結ぶ点と線』」うぶすなの家（十日町・新潟）

「トッテのある形展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

2009 「田中知美 中島晴美 服部真紀子 山岸大祐展」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「select ＆ collect」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「ゆかいなかたち」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「2009アジア現代陶芸—新世代の交感展」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

「未来へのタカラモノ」高島屋（東京、大阪、新宿、京都）

「小さな宇宙　香合・小筥展」日本橋三越本店本館6階美術工芸サロン（東京）

2010 「フタのある形 PartⅡ」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「寅男展」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ」金沢21世紀美術館市民ギャラリーA

（金沢・石川）

「常設展　あいちトリエンナーレ2010年開催記念 現代の陶芸—あいちトリエンナーレ2010によせて—」愛知県陶磁資料館（瀬戸・愛知）

「中島晴美・森野泰明展 —2009年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念—」和光ホール（東京）

「東京国立近代美術館工芸館所蔵名品展『輝くわざと美—日本工芸のいま』」香川県立ミュージアム（高松・香川）愛媛県美術館（松山・愛媛）

「土のみた夢　Part2」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「陶　食のうつわ展」日本橋三越本店本館6階美術特選画廊（東京）

2011 「第6回パラミタ陶芸大賞展」パラミタミュージアム（三重郡・三重）

「国立美術館巡回展　日本の現代陶芸展—伝統と新風の精美—」江別市セラミックアートセンター（江別・北海道）瀬戸市美術館（瀬戸・愛知)

2012 「武村和紀 中島晴美 古井晶子 渡辺可奈子展」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「日本のわざと美—近代工芸の精華展」ピッティ宮殿 白の間（フィレンツェ・イタリア)

「わんの形」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「第18回MOA岡田茂吉賞—明日の日本画・工芸を展望する—」MOA美術館（熱海・静岡）

「ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレ」マニエリ美術館・陶芸博物館（ヴァロリス・フランス)

2013 「体感アート＠県美.com」岐阜県美術館（岐阜）

「日本陶磁協会賞受賞作家展」和光ホール（東京）

「New Blue and White」ボストン美術館（ボストン・マサチューセッツ・アメリカ）

「ボーダーラインコレクション展Ⅰ」金沢21世紀美術館（金沢・石川）

「東京国立近代美術館所蔵名品展『近代工芸の巨匠たち』」田辺市立美術館（田辺・和歌山）南丹市立文化博物館（南丹・京都）

「現代の日本工芸展 Contemporary KOGEI Styles in Japan」モリカミ美術館（デルレイビーチ・フロリダ・アメリカ）

「所蔵作品展 ボディ３」東京国立近代美術館工芸館（東京）

2014 「アート・ステージ・シンガポール」マリーナベイ・サンズ（シンガポール）

「Collect 2014」Saatchi Gallery（ロンドン・イギリス）

「川浦紗季　中島晴美　土井洋佑展」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「現代陶芸展『美濃陶芸の明日展2014』」多治見市美濃焼ミュージアム（多治見・岐阜）

「美濃陶磁100展」多治見市産業文化センター（多治見・岐阜）

「ワカラナイノススメⅡ」茨城県近代美術館（水戸・茨城）

「中島晴美・前田昭博 展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「Object Matters：概念と素材をめぐる日本の現代表現」ギャラリーヴォイス

（多治見・岐阜）

2015 「やきものの現在—牛田コレクションを中心に—2015年夏季コレクション展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「やきものの現在—牛田コレクションを中心に—2015年秋季コレクション展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「きになるかたち」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「Reshaping Tradition: Contemporary Ceramics from East Asia」USC パシフィック・アジア美術館（パサデナ・カリフォルニア・アメリカ）

「The Imagination of Blue and White」新北市立鴬歌陶磁博物館（新北・台湾）

「日本陶磁協会受賞作家展」和光ホール（東京）

2016 「東京国立近代美術館工芸館名品展」宮崎県立美術館（宮崎）

「安藤祐輝・岩田結菜・荻野由梨・中島晴美・山口美音・森綾展」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「よいの形」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「やきものの現在—牛田コレクションを中心に—2016年夏季コレクション展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「東京国立近代美術館工芸館名品展 日本工芸の100年」島根県立美術館（松江・島根）

「現代陶芸・案内(ガイド)」茨城県陶芸美術館（笠間・茨城）

2017 「陶の表現—戦後からのNew Vista」現代美術 艸居（京都）

「14人の造形展」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「やきものの現在—牛田コレクションを中心に—2017年春季コレクション展」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「東京国立近代美術館工芸館名品展Ⅴ—これなぁに？—ひろがる工芸」那須野が原博物館（那須塩原・栃木）

「『国際陶磁器フェスティバル美濃』の歩み 1986 – 2014 陶磁器の未来に向かって~~展~~」岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

「KOGEI Art Fair Kanazawa 2017」KUMU金沢（金沢・石川）

2018 「To Ideal Land of Ceramics Exhibition of International Contemporary Ceramic Works」清華大学芸術博物館（北京・中国）

「CERAMICS NOW: THE FAENZA PRIZE IS 80 YEARS OLD」ファエンツァ国際陶磁美術館（ファエンツァ・イタリア）

「国際陶磁器フェスティバル美濃 桃山から現代へ　志野、織部　伝統の継承展」そごう美術館（横浜・神奈川）

「やきものの現在　牛田コレクションを中心に　2018年秋季」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「やきものの現在　牛田コレクションを中心に　2018年冬季」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「東京国立近代美術館工芸館移転連携事業『か・た・ち をめぐる冒険』」小松市立本陣記念美術館（小松・石川）

2019 「20周年企画　現代陶芸　オブジェの現在進行形—多治見市陶磁器意匠研究所—」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「やきものの現在　牛田コレクションを中心に　2019年夏季」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「やきものの現在　牛田コレクションを中心に　2019年秋季」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

「みた？―こどもからの挑戦状」東京国立近代美術館工芸館（東京)

「20周年企画　好きなかたち展　増殖と装飾」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「形而至上--年代抽象第三回」年代美術館（温州・中国）

「LIVING KOGEI 生まれ変わる伝統：イセ・コレクション所蔵・現代日本の工芸品」香港大学美術博物館（香港）

「現代日本の工芸　国際交流基金寄託作品と山梨の工芸」山梨県立美術館（甲府・山梨）

2020 「金・銀・銅の世界」ギャラリー数寄（江南・愛知）

「やきものの現在　牛田コレクションを中心に　2020年春季」ギャラリーヴォイス（多治見・岐阜）

**受賞／入選歴**

1980 毎日ID賞特選2席受賞

1989 国際陶磁器展美濃‘89陶芸部門銅賞受賞

1995 国際陶磁器展美濃‘95陶芸部門金賞受賞

2010 2009年度日本陶磁協会賞受賞

**コレクション**

国立工芸館（金沢・石川）（旧称：東京国立近代美術館工芸館）

国際交流基金（東京）

茨城県陶芸美術館（笠間・茨城）

滋賀県立陶芸の森（甲賀・滋賀）

愛知県陶磁美術館（瀬戸・愛知）

岐阜県現代陶芸美術館（多治見・岐阜）

多治見市美濃焼ミュージアム（多治見・岐阜）

高松市美術館（高松・香川）

金沢21世紀美術館（金沢・石川）

イセ文化財団（東京）

牛田コレクション（多治見・岐阜）

エバーソン美術館（シラキュース・ニューヨーク・アメリカ）

プラハ装飾美術館（プラハ・チェコ）

韓国陶磁財団（利川・韓国）

ファエンツァ陶磁国際美術館（ファエンツァ・イタリア）

ヨーロピアン・セラミック・ワーク・センター（オーイステルウェイク・オランダ）

ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン（ニューヨーク・アメリカ）

ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館（ロンドン・イギリス）

ヘッチェンス陶磁器博物館（デュッセルドルフ・ドイツ）

上虞青現代国際陶芸センター（上虞・中国）

清華大学（北京・中国）

ビクトリア国立美術館（メルボルン・ビクトリア・オーストラリア）